



第155号

発行所 大阪府危険物品協会連合会

発行人 田宮 呉 策

大阪市西区西長堀北通1丁目
四つ橋ビル8階

TEL (531) 9717, 5910

定価 1部20円

大阪府危険物取扱主任者試験

合格率 甲種 58%、乙種4類 55%

11月29日免状交付さる

大阪府では10月下旬、甲種及び乙種第4類の主任者試験を実施したが、11月10日合格者を発表、29日免状を交付した。

今回は10月20日、21日、25日、26日、27日の5日間を試験日とし、各日午前、午後の部と分け、延10回の試験が行なわれた。(甲種は1回)

受験者数は次表のとおりで、乙種4類の合格率は最近の試験のうち最高率を示した。また、申請者のうち甲種で3%、乙種で4%の欠席者があった。

	申請者	欠席	受験者	合格率
甲種	316	9	307	58%
乙種	4,378	173	4,205	54.6%

尚、甲種試験の受験資格は大別すると、①大学等卒業者と②乙種免状取得者、になるが、この両者の合格率を調べてみると次のとおり。

	(受験者)	(合格者)	(合格率)
①大学卒	203	139	68.5%
②乙種取得	104	40	38.5%

大阪府における最近の甲種及び乙種主任者試験の合格率次のようである。

また、本年度に実施された他府県の受験者数と合格率を

みると次のようである。

府県名	実施年月	甲種		乙種第4類	
		受験者数	合格率	受験者	合格率
北海道	40.11	155	34.8%	4,894	45.8%
東京	41.5	397	48.1%	8,370	30.1%
神奈川	41.5	363	52.6%	6,125	42.9%
愛知	41.8	258	45.0%	6,512	33.2%
兵庫	41.6			(乙の平均)	41.0%
滋賀	41.7			771	44.3%
大分	41.4			963	38.7%
秋田	41.6	42	50.0%	1,288	36.9%
福井	41.6	27	22.2%	526	27.6%
岐阜	41.6			1,251	38.1%
佐賀	41.7			482	45.8%
山梨	41.7	10	60.0%	457	51.2%
栃木	41.5	29	65.5%	958	59.3%
鹿児島	41.5	21	57.1%	639	61.7%
富山	41.6			1,491	45.9%
山口	41.6	222	45.0%	2,296	58.1%
千葉	41.5			2,507	52.0%
島根	41.2			325	58.5%

年度	38		39		40		41		
	8	11	4	11	7	11	3	5	10
甲種	65%		68%		38%		50%		
乙種1類	71%		70%		63%		61%		
乙種2類			82%		66%		54%		
乙種3類			74%		64%		77%		
乙種4類	41%	44%	53%	41%	49%	40%	43%	44%	55%
乙種5類			96%		60%		75%		
乙種6類			86%		62%		61%		

目次	
主任者試験結果	1
得点分析	2
座談会“試験と講習”	3
各地の便り	8

総合得点平均60%以上なら

合格率は上るか

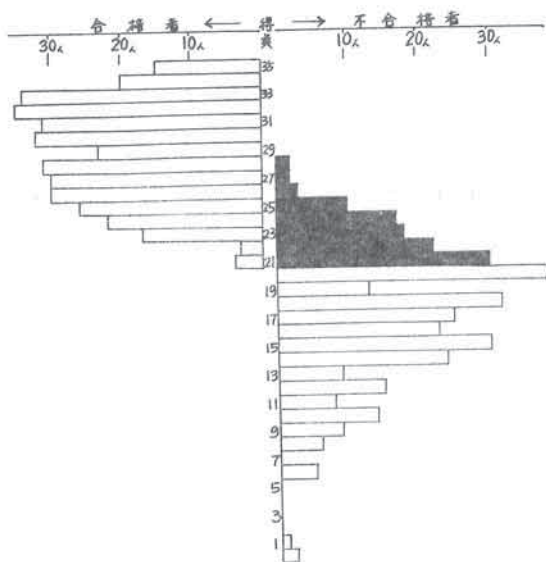
主任者試験の得点分析

さて、今回の主任者試験結果から、総合得点と合格、不合格の線を分析してみた。

◆……主任者試験の答案整理をされた大阪府消防救助課の係員の話によると、「最近の答案をみていると合格者は3科目とも得点が高いが、不合格者は各科目とも非常に悪く、問題の解答がよくできる者と、全く悪い者とに大きく別れてきたように思われる」ということである。一方、受験者や業界の一部で、現在の合格基準※を「全科目総合点の60%以上の正解者を合格」というように改められたら、もっと多くの合格者があり、合格率が高くなるだろうと思われる向きもかなりあるようである。

※ 現在の試験では、Ⅰ基礎物理化学10問、Ⅱ危険物の各論10問、Ⅲ関係法令15問の3科目、35問が出題され、各科目ごとに60%以上の正解(Ⅰ、Ⅱは6点以上、Ⅲは9点以上)がなければ合格にはならない。例えば、Ⅰが10点、Ⅱが10点、Ⅲが8点では総合得点28点にもかかわらず不合格となる。しかし総合得点の60%以上ということになると21点以上とれば合格となる。

◆……この10月に行なわれた乙種第4類試験の受験者4,378人のうち、10月20日に受験した715人(欠席者を除く)について3科目の合計得点を調査すると次表のようである。なお、10月20日の受験者715名のうち352名合格し、この分の合格率は49%となる。(10月下旬時の乙種4類受験者総合の合格率は55%)



◆……合格者を見ると、出題35問のうち90%(32点)以上正解者が102名で、受験者の19%あり、次に35問のうち80%(28点)以上正解者は31人で、60%に当たる21問以上正解した者、つまり全合格者は49%となっている。いいかえると、合格者352名のうち63%は総合得点80%(28点)以上であり、また、89%の者は総合得点72%(25点)以上であったことになる。

◆……不合格者の方では、出題の40%以下(0点~13点まで)しか解答できなかった者が全受験者の11%を占め、50%(18点)以下では207名、29%(不合格者の57%に当たる)、60%(20点)未満では37%となっている。

合格者は3科目ともよくでき、不合格者は一般に3科目とも悪いということが、改めて確認できるようです。

◆……次に、総合得点で60%(21点)以上正解しているにもかかわらず不合格となった者は、715名のうち104名で、14%ある。

この104名が不合格になった理由を調べてみると、次表のとおり。

	1問不可	2問不可	3問不可	4問不可	計
Ⅰ理化学 で不合格	6人	5人			11人
Ⅱ各論	36人	11人	7人		54人
Ⅲ法令	17人	7人	3人	2人	29人
2科目以上	理化学と各論 4人		各論と法令 4人		8人
計	59人	23人	10人	2人	合計 102人

注:「1問不可」とは、最低合格基準に対して、1点不足(Ⅰ、Ⅱについては得点10%に値する)することを示す。

合格基準に対し1問のみ得点不足のために不合格となった者が、102名の57%に当たる59名あり、残り43%の43名が2問以上不足ということがわかる。

とくにこのグループでは、Ⅱの各論が1問できなかったために不合格というが目立っている。

安全知識に極端な偏向のある者は取扱主任者として不適切であるとすれば、総合得点で60%以上の得点者でも、そのうち約半分は欠格ということになり、総合判定でもすぐわれるものはごくわずかである。

いずれにしても、今のところこの総合点制は採用される予定はないようである。

お知らせ

政令により基準以上の製造所等には、予防規程を定めなければなりません。

予防規程の作成について不明点は御連絡下さい。見本もあります。

大阪市危険物品協会

座談会

危険物取扱主任者試験と準備講習

とき 41.11.17

ところ 四つ橋ビル

<出席者>……………(順序不同、敬称略)

内海 省三	田辺製薬KK大阪工場 副工場長
長谷川有吾	日本触媒KK 保安係長
山田 勝康	KKシェル石油大阪発売所 給油部次長
孫田 信三	孫田石油KK 取締役社長
黒田 卓司	第一燃料KK 常務取締役
時岡 実	石油荷役KK
浅野 敏夫	大阪液体燃料運送KK 取締役 総務部長
浦久保哲二郎 [受験者]	近畿タール製品KK
田宮 呉策	大阪府危険物品協会連合会 事務局長
司会	松村光惟

主任者試験が国家試験になり、大阪府においてはじめて試験が行われたのが昭和35年、早いものでもう7年になります。この間、講習会や試験について、いろいろの声がかかっていますが、大阪府危険物品協会連合会では、秋季試験の合格発表直後、業界代表の7社と、受験者の参会を得、表題の座談会を催した。

その内容には、関係各界に可成り参考となるものと思われるものがあるので、誌上で再録することにした。紙面の都合で一部割愛したところがある。

司会 本日はお忙しいところご出席いただきまして、有難うございます。主任者の試験並びに講習について、皆さまの卒直なご意見を聞かせていただき、またいろいろ参考になることを承りたいと存じます。

はじめに、田宮事務局長に現行の講習、試験について簡単にお話しいただきます。

田宮 平素は主任者の養成について、種々配慮煩わしていますが、皆さん直き直きのご意見を承り、できるだけご要望に応じた講習をやり、また試験については府当局の方へ具申して、参考にしてもらいたいと存じます。現在試験は国家試験で基準が各府県に流され、それに基づいて府県でやっています。当初は各府県でレベル、合格率等がまちまちであるなどのうさも流れていましたが、今ではもうほとんど程度、内容も同じで、合格率もそんなに変わりありません。また一部で大阪の試験が難かしい、合格しにくいとい

うことも耳にしますが、合格率だけをみても決して大阪が難かしいとはいえないと思います。

講習もいろいろの事情で乙種の方は現在2日間でやっています。

司会 では、はじめに危険物取扱主任者というものの考え方についてご意見をおききします。日本触媒さんいかがでしょうか。

保安教育の一環 …… 主任者養成

長谷川 私の方の会社、とくに吹田工場全体が危険物で、その保安については最善の努力をはらっています。その保安対策の一つとして従業員の教育訓練がありますが、その一環の教育体制の中に危険物取扱主任者の資格取得というものをいれています。

つまり従業員に講習を受けさせ、受験というチャンスを与えることにより危険物の安全知識をうえつけるといことです。法律で必要だから資格をとらすというのではなく、関係従業員には全部とらすというやり方です。幸い化学出身者も多く現在40%ほどが主任者の免状もっているという状態です。

内海 私の方も、最初は規則があるから資格をとらすということでも出発しましたが、その後日本触媒さんと同じ考えで、できれば危険物を取り扱うものは全部免状をとらすという目標でやっている。私の方は工場、研究所の性格からみて高度の保安知識が必要で、極端に言えば乙種ではまにあわないという考えで、甲種の資格者をどんどん増しています。

司会 田辺さんの方は合格率がいつもいいようですが、その秘策を。

内海 今回は甲種だけでしたが、23名受験して全員合格です。前回は乙種で90%位だったと思います。

「試験は勉強すれば合格するんだ」ということを不文律にしています。試験を受けさせる意図は、有資格者をつくってすぐ主任者にするというのではなく、一人でも沢山危険物の内容をして安全な作業をしよう。全員とらなければいけないんだという雰囲気になり、パスするのが当たりまえのようになりました。勿論、その過程では考え方も違うし、ある時期には社内で復習会もやり、相当ハッパをかけたこともありますが、現在では先程申し上げたとおりです。現在の試験問題はむづかしくないと思います。逆にこの程度のことは知っておってもらわないと、実際の保安に困るのではないかと思います。低くても高過ぎることはないでしょう。

司会 合格率の問題がでてきましたが、田辺さんや日触さんのような化学工場と石油屋さんや運送屋さんでは、事情がかなり違うと思います。液燃さんいかがでしょうか。

現行試験 …… 運転手には無理

浅野 私どものような運送業者、とくにタンクローリーの運転手に資格者が要するところでは、現在の高校出の試験をされると難しいです。熱心なのは4回も5回も受けるのがいます。

先日ちょっと新聞でみたのですが、ローリー運転手は別の試験があるようですが。

田宮 国の方では、運搬主任者とでもいうか運搬時のみの主任者を考えているようです。しかし、現在主任者の要らないトラックのドラム積みのおきも、この資格が要るようで、ローリーの方からみると資格がとりやすくなるが、トラック運搬の場合は強化されるようになるわけです。

浅野 試験はぜひ日曜日にやってもらいたい。

運転手1名が1日欠けると、ローリー1台が停ることになり、配車に非常に困るわけです。

司会 試験の方法が今回は変わりまして、従来は日曜日1日だけ、或いはウィーク・ディの日時を指定してやっていたのですが、今回は10月下旬の5日間、各日午前、午後と延べ10回の試験がありました。会場の都合で日曜日は除外されましたが、そこで液燃さんのように、ぜひ日曜日にということ、また日曜日は困るところもありますので、できれば日曜日を入れて4~5日やってもらい、また受験日も今回のように希望をある程度受け入れて受け付けてもらえれば、両方のご期待に添えるわけですね。

孫田 松村さんのご意見は大変結構です。でき得れば、業界別の試験を希望しますが。

会社ぐるみのムードづくりで

田宮 国家試験であるから、業界別の試験は無理ですね。

時岡 私の方も以前は試験をまともにはうけなかったのです。結局本人の自覚をまたないと不可能なことで、最近では講習を受けてから後日試験まで、毎日作業終了後勉強し会社全体がそういうムードになって、この前のときは、16名受けて9名合格し、今回は幸いにして90%でした。

司会 この春頃から合格率が急によくなったと聞いていましたが、これは会社ぐるみのムードづくりということに根本的にかえられるということからはじめられたのですね。具体的には講習だけに頼らずに会社での復習を会社ぐるみですということですね。

時岡 講習はウィーク・ディにありますので、1人行くと車が1台停ることになりますので、受験者全員を受講させることは無理です。そこで初回の人には講習を受けさせますが、2回目、3回目の人にはもう受けさせません。この方が返って効果があったようです。

山田 20か所のスタンドがありますので、毎回相当数が受験しますが合格率は悪いです。なかでも化学が悪いようです。スタンド従業員は免状を取得する義務がある

消防ポンプから家庭用消火器まで！
消防機器の総合メーカー



保険付
家庭用万能消火器ピーナス

梯子消防車
消防ポンプ車
保険付消火器
フレーション車



森田ポンプ株式会社

本社 大阪市生野区腹見町2の33
TEL (751) 1351
営業所 東京・大阪・仙台・名古屋・福岡

という考えを徹底的に持たせないといけないと思います。何か安易に考えているので、そういう意欲づけをしようと思っています。経費の面でも全部会社負担ですが、これを合格者には会社から出す、不合格者は出さない。入社して1度は受験のチャンスを与えるが、2回、3回目は希望者だけにします。つまり意欲のある者だけ受けさすという風にやっていきたいと思いません。新入社員の方が合格率がいいようです。また、社内の任用についてもS・Sの主任、副主任に昇格する条件に主任者の資格をとりあげているのですが。

司会 若いときはそういう意欲もないからいいかげんにしておく、年配になってそういう問題が起こってから、あわてて勉強してもなかなか頭に入らないというわけですね。

山田 勉強すれば合格するという事はわかっているんですが、できないんですね。100点とらなくてもいいんですから。ところが家に帰ってきてやる気はあっても、机に向かうと疲れがでてきてできないようです。

模擬テスト落第者 …… 職場で協力

内海 私の会社では、講習を終了したあくる日全員模擬テストをします。その成績を所属部、課長に報告し、60点以上は放っておきますが、60点以下の者には、課長の責任において勉強させるようにやっています。勿論、危険物協会の格別のご協力を得ていますが、いろいろなことを考えてやりましたが、模擬テストの悪い者を所属職場の責任で、上司、先輩が全力をあげておいこむというようにやっています。

司会 田辺さんのようなところでは各セクションでいろいろ先輩格の人が即先生になる方が多いので、恵まれています。孫田さんの方はどうでしょうか。

孫田 私の方でもやっています。消防署の方にも頼んで復習もやっていますが、どうも意欲がないようです。

田宮 さきほどからの話では、意欲や熱意がポイントのようです。

孫田 運転と危険物の資格をとらないと副主任にしないというようにしたり、昇給制度にも考慮しているのですが。

田宮 吹田の方は日本触媒さんで研修、模擬テストもしたようですが、成績はどうでした。

長谷川 結果はまだ出ていません。

内海 予備試験の成績は本試験と直結していますね。予備試験でよい成績の者は100%合格しています。試験は運ものだといわれますが、勉強した人は必ず通るということ。そういうデータが出ています。乙種の試験は高校出とのことですが、中学の化学を普通の成績の人は合格点はとれると思います。うちの方では、法令が悪いですが、これは法律がいが手という先入感があるからです。何度も読むということが合格のコツですね。

司会 合格ホヤホヤの近畿タールの浦久保さんいかがですか、失礼ですが2回目と聞いていますが、受験体験談を一つ。

浦久保 我々のところは中小企業ですが、以前は消防署に申しわけ程度に、1人か2人の主任者をおいて、ことたりるというように考えていたのです。ところが、昨年の尼崎のプロパンの事故以来、これではいけないということになり、全員資格を持つという風になりました。そしてこの春会社の有資格者がリーダーとなり、毎日々々夜間会社で勉強し試験を受けたのです。我々年寄り、実は私ももう還暦ですが、若い者に勉強しろ、勉強しろとけしかけるだけではいけない。よし自分も受けてやろうと思い、受験しましたがあきませんでした。

講習は受けませんでしたので、今回はと受講し、受験してやっと合格したようなことです。

田宮 受講されたご意見はどうでしょうか。

浦久保 声をはっきり聞こえませんが、拡声器がうまくいかないで、また隣りの人がグーグー眠りまして。その上講師の声も小さかったです。会場は厚生会館でしたが。

株式会社
スタンダード石油大阪発売所

ESSO

取締役社長 松村喜美
本社 大阪市西区靱4丁目70番地
TEL (443) 1271(代表)
桜島油槽所 大阪市此花区梅町2の8
TEL (461) 7186
L.P.G長柄充灌工場 大阪市大淀区長柄東通9-39
TEL (928) 5766 (351) 1752・5044

【サービスステーション・電話】

道頓堀 (271) 5747	南堀江 (531) 6325	豊中本町 (52) 1677	蒲生 (833) 4893	千里 (384) 4220
松島 (531) 3097	三國 (391) 1290	生玉 (771) 4622	新町 (531) 3455	
空心中 (928) 3988	小国 (383) 8150	靱 (443) 1270	粉川町	
帝塚山 (22) 6070	小阪 (721) 6849	両替町 (941) 2706	玉造 (811) 1765	
長居 (691) 9225	豊中セントラル (53) 2595	高井田 (931) 0084	海老江 (451) 6890	箕面

給油所 他53カ所

田宮 ワイヤレスを使用するのでどうも調子の悪かったところが多く、講師にもまた受講者にも迷惑をかけたようですが、これは善処します。

受講料を上げて内容の充実を

内海今の講習で、はじめての人が講習だけいって来て合格するというのは不可能ですね。本を読む基礎を習ってこい、勉強に入るための空気にひたってこい。また、そのためにはたとえわからなくても、一遍でも二遍でもテキストを読んで行くようにしています。講習だけでことたれりということは甘いですね。

浅野 ちんぷんかんぷん、わからんというています。

司会 講習のやり方について、いろいろ意見があると思いますが、つまり受講者の層の違いが大きいので、1日の講習でわかる人もいますし、2日や3日の講習では全然わからんという人もあるようです。そこで、できれば短かい講習、長期の講習をやってその人の能力に応じ希望の講習を受けてもらうと一番よいようですね。

内海 もう一つ提案があるのです。それは講習料を上げることです。会社も出費を真剣に考えるし、本人もそのつもりになります。合格率がよくなると思いますが、それから講習は試験のヤマをかけてくれる機会だと考えている人がいるようですが、これは本当の講習じゃないですよ。

田宮 講習をうけるとなにか利益になること。試験問題のヤマだけを期待して受講するのが多いですね。

内海 それは反対ですね。

山田 講習人員にも問題があるのではないのでしょうか。何百人も集めてやると講義に注意が集中できない人もいます。講義に集中できるようなムードのできる会場で行っていただきたいです。

司会 山田さんのご意見よくわかります。現在300~400名位を単位にやっていますが、これは、試験場借用等の問題もあり、スケジュール決定から試験日までの期間が少ないこと、講師、講習費用等の理由です。400名

ですと、実際勉強しているのは50~60%位です。ところが50名位にしまりますと80~90%は勉強するようで、いきおい成績も上がるということですね。

内海 突飛な発言ですが、もしある時期に、この講習をうけると80~90%が合格するんだという実績ができたなら、それが一番いいのですが、そのためには、逆にもし申し込んでもへたをすると受けられない位に、受講者をしばってもよいと思います。勿論、それだけの環境をあたえる、必要なだけの勉強をさす、受講料も高くする。というわけで、皆さまがこの講習は大変なんだ。絶対に1回で通るんだと考えるような講習会に持ってゆくべきだと思います。

ただ単に、マイクで声を売るというのはどうかと思います。たとえ受講料が今の倍、3倍と高くなっても、1回の講習で実績が上がると、結局は高くはないのです。何回も受けられると、仕事を休む割合が増え、これが非常にこたえるのです。受験者1日のロス講習料では比較にならないような出費になるのです。事業所の管理者はこの点をもっと慎重に考えるべきですね。

受験者1名の実質出費を再評価

山田 そうです。S・Sで従業員1人が欠けると会社の欠損は莫大なものですよ。

浅野 うちなんか運転手1名が1日講習に行って休むと、ローリー1台の水揚げが全然ないわけですからね。

孫田 2回までは会社で出しています。3回目から個人負担です。受講日は出勤扱いにしていますので、10人も20人も出すと会社が困ります。

浦久保 講習料を高くして、人数の少ない講習をやってもらいたいですね。

田宮 それが理想なのですが、期間がありませんし、試験の予定がたたない。ずーと前からやると来てくれませんし、また一方では講習料が高いという声もあるし、難しいです。

現在、1回に6~8会場位にわけてやっていますが、

あらゆる消防設備・設計・施工

斎田式救助袋

三洋式誘導標識灯

自動火災報知設備

各種の
消火器
消火ホース

ケミカルホース
炭酸ガス
エアホース
消火装置

株式会社 三和商会
大阪市内西區江戶堀北通二丁目八
TEL大阪(43)二四五六一九
ヤマト式消火器
日本ドライケミカル器
斎田式救助袋(近畿地区)代理店

一会場の定員を100名位にすると、約3～4倍の回数があるわけで、時間的に無理だろうと思います。

内海 我々会員としては受講者を制限されると困るんですが、質を上げることによってもっと合格率を上げる方法を、お考え願った方がよいのではないのでしょうか。現在の状態では、何か講習以外に手を打っているところが成績がよくて、講習のみに頼っているところは悪いようですね。

田宮 東京、神奈川、京都など他府県の殆んどは、1日講習をやっています。

司会 ところで主任者になった場合、待遇面で第一燃料さんあたりどうでしょうか。

黒田 別にとったからどうということはありません。ただし幹部になる条件の一つとして免状は要るわけです。無資格者は昇進が遅れるわけです。

受験料も本人負担にかえました。というのは会社負担にしますと安易な考えになりまして、どうせ入社してすぐ昇進のこともないし、2～3年して昇進のメドがついてからとればよい。ということで合格率が悪くなってきたのです。必要にせまられると必ず合格します。

司会 次は、会社では講習や試験に行っているはずのものが行っていないということがあります。講習会でも朝、夕、ハンコを押してチェックしていますが、その数より実受講者はずーっと少ないです。

孫田 講習の証明がないと出勤扱いにしてやらんのですよ。

会社の内緒で受験放棄者も

司会 今年の10月の試験では欠席率が甲で3%、乙で4%あります。勿論病気、出張などあると思いますが、放棄する者もあるようです。合格率の悪いところでは、そういうことも一応考慮すべきだと思いますが。去年ですが試験の欠席者が非常に多いところの会社の担当者をお呼びして、どういう理由か話があったのですが、その時はじめて、自分の社の従業員で受験したはずの人間が試験も受けないで、試験が難かしか

ったから落ちたと、ウソをついていたことを知り、びっくりしていたということでしたが。

田宮 会社は行かせているつもりであるが、本人は行っていないということです。1つの会社で10数人受験して、10人程欠席者がいるということもあるわけです。

山田 おはづかしい話ですが、私の方もずーっと以前に55名程受験させたのですが、そのうち半分近くが受験していなかったということがあったのです。

司会 次に夜間講習についてですが。

田宮 夜間を希望する会社もありますが、受講者本人は自分の時間をつぶしてまで、勉強さされてと非常に不服なんです。中にはまじめに勉強するものもありますが、出席率、勉強する者の全体に対する比率は、極端に悪いです。

不まじめな者が多いですね。

一同 昼働いて夜というのは無理ですね。

内海 なんとか合格率のよい、みなさんが利益するというような意味の権威のある講習をやってもらいたいと思います。

司会 それではこのへんで、どうもいろいろご意見いただきまして有難うございました。

会社別合格者調べ

(会社)	(合格者数)	(合格率)
T 製菓会社	23	100%
N 農薬会社	10	91%
O 石油運送	9	82%
S 化学会社	20	74%
M 電工会社	45	64%
<平均合格率以下>		
A 商事(石油)	23	53%
B 石油会社	30	50%
C 運輸会社	19	48%
D 製油会社	11	44%
E 興業(石油)	9	41%
F 石油会社	15	34%
G 石油会社	1	11%

一流メーカー品ばかりそろう

ヤマト式消火器

能美式自動火災警報設備

サンヨー式誘導灯

斎田式避難器具

本社 大阪市北区空町1-5 電(351)9651
 大阪営業所 大阪市東成区大今里南之町 電(971)5636
 堺営業所 堺市大浜北町2-62 電(2)3562
 西野田営業所 大阪市福島区茶園町128 電(461)3163



真弓興業株式会社

主任者章、各市協会で採用

危険物取扱主任者率は大阪市消防局の指導と推進により市内主任者には用することが決定、大阪市危険物品協会で作製していたがこのほど完成、11月17日より各地区研究会を通じ配布された。

この章は実費90円で一連番号が付され、各署で交付台帳に登録されている。

一方府下殆んどの市でもこの制度を採用することになり、各市危険物協会名で主任者に配付、着用している。主任者章着用がガソリンスタンドは安心して給油することができる」と好評を得ているようだ。

大阪府 第2回消防設備士試験(乙種第6類消火器)を12月14日、府商工会館他で実施する。

願書は12月1日大阪府庁で受け、又予備講習は12月6日商工会館で行なわれる。

大阪市 危険物施設立入検査は今年も11月12日に全市にわたり行なわれている。

主任者章は火災予防週間行事の一つとして市内全主任者に交付され、ガソリンスタンドやその他危険物施設で新しいバッジをつけた主任者がみうけられるようになった。なお、甲種の章は12月中、下旬にできる見込みである。

布施市 優良危険物取扱事業所等表彰式が11月28日午後布施市消防本部で行なわれた。

当日は、優良危険物事業所2社、優良取扱主任者28名、優良消火管理者27名、優良自衛消防隊5社、優良消防設備強化事業所2社などが表彰された。

八尾市 危険物、高圧ガス運搬車街頭検査が、11月22日、八尾市国道25号線と府道八尾藤井寺線で行なわれた。なお当日大阪府計量課保安係、救助課予防係より担当者が応援された。

検査結果は、タンクローリー101台(35台)、危険物トラ

ック37台(35台)、高圧ガスローリー9台(4台)、高圧ガストラック18台(9台)〔()内は違反車〕で、検査車両の約半数が違反であった。

とくに危険物を運搬するトラックは37台中35台が違反で、なかでも標識の不備なものが目立って多かった。

茨木市 名神高速道路の車両一せいで11月9、10日実施されたが、茨木消防署でもインターチェンジ附近で検査した。

危険物運搬車はローリー、トラックで12台あったが、そのうち9台は防火上不備で指示された。指示内容を見ると、ローリーでは許可外物品積載、主任者不乗、エンジン部の電気配線不良、また一般車では、標識不良、消火器の使用法無知などがあげられている。

主任者研修会が11月29日、大阪府労働セツルメントで行なわれ、100名の主任者が受講し、又この機会に主任者章が交付された。

編集後記



秋の火災予防週間は8月と正月がすぐそこにやってきます。毎年のものであるが、なにかあわただしい、そのすきに火魔にねらわれる。

“日々新たに防火の構え”でこの年の瀬を送りたいものです。

今月号は取扱主任者試験の特集になりましたが、座談会でのお話にもありましたように、主任者1名をつくることは会社としても莫大な出費をしているわけですから、会社も本人も、もっと力を入れて、熱心にやるべきではないでしょうか。

10月の試験をみて、T製菓のように甲種23名全員合格というところもあれば、合格率10%前後のところもあるようです。運送会社で、前回は1名も合格しなかったところがローリー運転手11名が受験して9名合格という好成績もあります。しかしそのうらには、毎晩あるいは日曜日でも出社して勉強した努力があるわけです。何ごとも、やればやれるということでしょう。



いま話題の

ABC粉末消火器は

ヤマトが

開発しました!



ヤマト消火器株式会社

大阪・東京・福岡・北九州・尾道・名古屋・静岡・仙台・札幌・広島・富山